

登録コード	UAC40500	開講年度	2026				
授業題目	比較文学研究			担当教員	澁谷 豊		
				副担当			
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・3時限		
				授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】		
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学						
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。				文学に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、柔軟な感性と創造的な論考により比較文学領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築したり仮説を検証したりできるようになる。		
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。				文学に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する伝統的な各国文学の研究手法を身につけるとともに、比較文学的な研究手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の文学的課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。		
	【人間文化学】高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。				高度な言語運用能力（日本語力、フランス語力）とコミュニケーション能力を基盤として、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。		
(2)授業の概要	第二次世界大戦中にドイツ占領下のフランスから他国へ亡命したフランス人作家の作品を原語（フランス語）で講読し、亡命者の文学に対する理解を深める。						
(3)授業計画	1 オリエンテーション 2 概説（作者について）＋作品講読 p. 11-15 3 概説（時代背景について）＋作品講読 p. 16-20 4 作品講読 p.21-25＋討論 5 作品講読 p.26-30＋討論 6 作品講読 p.31-34＋討論 7 作品講読 p.35-38＋討論 8 作品講読 p.39-44＋討論 9 作品講読 p.45-49＋討論 10 作品講読 p.50-54＋討論 11 作品講読 p.55-59＋討論 12 作品講読 p.60-65＋討論 13 作品講読 p.66-71＋討論 14 作品講読 p.72-78＋討論 15 まとめと展望 期末試験期間中に試験を行う。 受講生の理解と関心に応じて計画を変更することがあり得る。						
(4)成績評価の方法	（１）フランス語の原文を正確に読むことができ、（２）比較文学的観点から作品を研究することができ、（３）授業中に紹介する参考文献（外国語文献を含む）を幅広く参照することができ、（４）討論を通じて重要かつ新規の問題を発見することができ、さらに（１）～（４）に加えて、新たに発見した問題に対する解決の道筋を精密に描くことができれば「卓越している」。（１）～（４）を満たせば「かなり上にある」。（１）～（３）を満たせば「やや上にある」。（１）と（２）を満たせば「その水準にある」。						
(5)成績評価の基準	授業への参加度 4 割＋期末テスト 6 割の比率で総合的に評価する。						
(6)事前事後学習の内容	訳読の予習が必須です。授業中に紹介する書物を読むことも大事です。						
(7)履修上の注意	原文で文学作品や数多くの研究書・研究論文を自在に読みこなせるだけの、高いレベルのフランス語力が必要不可欠です。また、比較文学の主要な学説を理解していることが前提となります。						
(8)質問、相談への対応	メールでご連絡ください。 yshibuya@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	Antoine de Saint-Exupery, Le Petit Prince, Gallimard, coll. folio.1999.						
【参考書】	授業中に紹介します。						